

2019 年度統計関連学会連合第 2 回理事会・組織委員会 議事録

日 時：2019 年 9 月 12 日（木）15:15 – 16:25

場 所：滋賀大学・彦根キャンパス 校舎棟 2 階 第 10 講義室

出席者：

【学会連合理事】

応用統計学会 岩崎 学（理事長），中西寛子

日本計算機統計学会 足立浩平，小木しのぶ

日本計量生物学会 松井茂之

日本行動計量学会

日本統計学会 川崎 茂，山下智志

日本分類学会 栗原考次，富田 誠

【連合大会実行委員会】 竹村彰通（2019(委員長)），笹田 薫（2019(副委員長)），山本義郎（2020）

【連合大会運営委員会】 中川重和（2019），藤野友和（2020）

【連合大会プログラム委員会】 桜井裕仁（2019），富田 誠（2020）

【JJSD 編集委員長】

幹事 阿部貴行，石岡文生，大草孝介

組織委員会・審議事項

1. 2020 年度連合大会各委員長について

- ・ 実行委員長に山本義郎氏（東海大学），運営委員長に藤野友和氏（福岡女子大学），プログラム委員長に富田 誠氏（横浜市立大学）とすることが確認された。
- ・ 運営副委員長およびプログラム副委員長については，各委員長とも協議しながら，次回 12 月の連合理事会・組織委員会までに候補を選定する。

2. 2020 年度連合大会開催日時・場所，ならびに運営方針について

- ・ 山本 2020 年度実行委員長より，2020 年度は東京オリンピック・パラリンピック開催による都内の諸事情を勘案し，富山国際会議場（富山県富山市）などにて，9 月 8 日（火）をチュートリアル・市民講演，9 月 9 日（水）～9 月 12 日（土）を本大会としたい旨が提案され，承認された。なお，9 月 8 日は平日であるため，市民講演の開始時刻は 18 時とする旨が報告された。

組織委員会・報告事項

1. 2019 年度連合大会報告

(1) 竹村実行委員長より，特に大きな問題はなく滞りなく終了した旨の報告があった。

笹田副実行委員長より，以下の報告があった。

- ・ 駅から会場まで距離があったため，臨時のシャトルバスを運行し参加者のスムーズな移動に配慮し

た。

- ・次年度は大学での開催でないため、学生アルバイトの確保を早期に行う方が好ましい。

(2) 中川運営委員長より、以下の報告があった。

- ・ほぼ事前に想定した来場者数であり、大きなトラブルもなく無事に終えた。
- ・来場者の詳細は、事前登録者 587 名、招待者 28 名、当日参加者 202 名の合計 817 名であった（後日、最終集計の後、事前登録者 596 名、招待者 28 名、当日参加者 201 名の合計 825 名に訂正）。
- ・1 件の講演キャンセルが出たが、速やかに貼り紙により周知した。
- ・大学敷地外での喫煙に関して、住民からクレームが寄せられたが、速やかに貼り紙およびセッションでのアナウンスにより周知した。

(3) 桜井プログラム委員長より、以下の報告があった。

- ・チュートリアルセッションに関して、事前参加申込数は 206 名であった。
- ・市民講演会に関して、事前参加申込数は 154 名であった。
- ・一般セッションは 33（発表数：186）、企画セッション（デモセッションを除く）は 15（発表数：59）、デモセッションは 1（発表数：3）、コンペセッションは 7（発表数：44）、プレナリーセッション 1（発表数：1）、特別企画セッション 2（発表数：12）であった。
- ・プレナリーセッションは、諸般の事情から講演者が来日不可となり、松田安昌氏（東北大学）が代わりに講演を行った。講演者の交代は、速やかに主催 6 学会に連絡し、連合大会ウェブページおよび会場にて広報も行った。
- ・一般講演のセッションのうち、英語セッションを 7 つ構成できた。
- ・コンペティション講演の講演数は 44 であり、過去最高であった。当該セッションのうち、1 つは英語セッションを構成できた。講演数が多かったため、表彰式は大会最終日の昼休みに行った。
- ・今年度は速報版プログラムの作成をプログラム委員会で行い、速報版プログラム公開までの期間を 1 週間短縮できた。

連合理事会・審議事項

1. JJSD の発行にかかる経費の科研費からの支出（審議事項）

連合大会組織委員会のみ委員は退席し、連合理事会が開始された。岩崎理事長より、JJSD に関して以下の通り依頼・提案があり、審議の結果、承認された。

- ・日本統計学会から申請した科研費が採択され、JJSD の発刊に係る年間費用(2,500,000 円+消費税)が 2019 年から 5 年間当該研究費により支出できる予定である。現在、Springer-Nature 社と契約の詳細を交渉中である。
- ・JJSD は開始から 2 年間のみがオープンアクセスであり、当該科研費からの支出終了後は、現在の発刊に係る費用の支払い分担を基本とし、JJSD の論文購読料の各学会の負担額等については、引き続き検討が必要である。

2. 統計質保証推進協会からの業務委託

- ・ 岩崎理事長より、統計質保証推進協会と統計関連学会連合の間で契約が締結され、毎年 60 万円が協会から連合に支払われ、それを連合の新規事業の原資にしたい旨が提案され承認された。

3. 学会連合としての新規事業

- ・ 岩崎理事長より、JJSD の目標である Impact Factor (IF) 取得の難易度が、年々増している現状が説明された。IF 取得には、JJSD 以外の雑誌における引用数の増加が必要であり、広報活動の強化が重要となる旨が説明された。
- ・ 川崎理事より、JJSD の広報に関して、次の点が提案された。各学会で連携し、JJSD の広報を強化する旨が合意された。
 - 英文広報リーフレットの改善
 - 国内研究会・講演会への後援依頼を活用した広報資料の配布
 - 海外研究会におけるリーフレット配布
 - 学会 HP での JJSD 広報の改善
- ・ 岩崎理事長より、JJSD へのオープンアクセス終了に伴い、各学会で会員に向けて本人認証のためのトークンを配布する必要がある旨、説明された。配布方法などは、Springer 社から別途指示があるため、その情報を今後各学会に連絡する旨が説明された。

4. 2021 年度連合大会の開催場所

- ・ 2021 年度の連合大会の開催地（および実行委員長）について議論がなされ、いくつかの候補地が提案された。岩崎理事長から実行委員長候補に打診する旨が提案され、承認された。
- ・ 次回の理事会・組織委員会は、日程調整の上、12 月中旬～下旬に開催する。

5. その他

- ・ 岩崎理事長より、10 月中を目途に、各学会から連合大会運営委員およびプログラム委員を選出頂きたい旨の依頼があった。

連合理事会・報告事項

1. 文部科学省委託事業「数学アドバンストイノベーションプラットフォーム」(AIMaP) との連携について

- ・ 岩崎理事長より、現在、九州大学が主体で行っている当該事業に関して、引き続き連携する旨が報告された。

2. 第 24 期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン「学術大型研究計画」の計画名「数理科学の新展開と諸科学・産業との連携基盤構築」について

- ・ 岩崎理事長より、当該研究計画について、引き続き連携する旨が報告された。

3. JJSD の現状について

- ・ 本件は，連合理事会の議案 3 にて既に議論された。

4. 共催・協賛・後援

- ・ 岩崎理事長より，統計関連学会連合が後援している応用統計学会フロンティアセミナー（10 月 19 日）の参加登録状況などについて報告された。

5. その他

- ・ 岩崎理事長より，統計関連学会の法人化の検討について提案があり，既に法人化している学会から情報が共有された。本件は今後継続的に検討することが確認された。

次回連合大会組織委員会及び統計関連学会連合理事会：

2019 年 12 月 21 日（土）に（株）NTT データ数理システムにおいて開催